

**ドライバーデータ
収集システム
操作手引書**

目次

- 1 . 『ドライバーデータ収集』システムの表示画面構成について
- 2 . メニュー欄について
 - 管理フォルダの指定 (F)
 - 新規作成 (N)
 - 説明書 (D)
 - 終了 (X)本システムにおける収集データ管理ファイルについて
- 3 . ドライバー接続管理欄について
- 4 . 収集データ表示欄について
- 5 . ステータス情報表示欄について
- 6 . システム・インストール後の最初のシステム起動について
- 7 . システムの動作環境について
- 8 . システムのインストール/アンインストールについて
 - システムのインストール
 - システムのアンインストール

1. 『ドライバーデータ収集』システムの表示画面構成について

メニュー欄

ファイルの新規作成、説明書表示、システム終了指示などを行います。

ドライバー接続管理欄

判定誤差率、データ管理ファイルの保存形式、ドライバー接続情報の指定を行います。

判定結果

ワーク検出状況 ●

Pass **Fail**

収集データ・サマリー

S_No	開始時刻	終了時刻	本数
11	09:32:29	09:35:00	4
12	09:41:42	09:41:42	1
13	09:42:29	09:42:29	1
14	09:43:51	09:43:55	4
15	09:48:11	09:48:19	7
16	09:49:57	09:49:57	1
17	09:50:51	09:51:07	4

学習情報

学習数	5
学習最小値	269
学習最大値	315
学習最小測定時間	337
学習最大測定時間	1891

判定比較情報

判定誤差率(%)	2
判定最小値	778
判定最大値	763
判定最小測定時間	330
判定最大測定時間	1928

判定情報説明

S00 [レバ-SW ON]
 S01 [レバ-SW OFF トルクアップ無し終了]
 S02 [トルクアップ ON]
 S10 [ワーク ON]
 S11 [ワーク OFF]
 E00 [判定=GOOD]
 E01 [判定=LOW OK]
 E02 [判定=HIGH OK]
 E90 [セロ領域検出 判定不能終了]
 E91 [測定時間異常終了]
 E92 [学習不足 判定不能終了]
 E93 [判定=LOW NG]
 E94 [判定=HIGH NG]

ログ情報

```
[Lever switch ON]
[Job Num = 6]
S02
[Torque Up ON]
D10076700263
D000005026903150033701891
D2002077807630033001928
[Judge = Low OK]
E01
[Judgment end]
```

管理ファイル一覧

- 2009年01月21日.csv
- 2009年01月08日.csv
- 2008年11月14日.csv

収集データ

No	収集時刻	換算値	時間	判定
34	09:51:01	358	1123	E02
35	09:51:07	473	361	E00
36	09:52:04	767	263	E01

4800-8-N-1 Ver. 1.1.2

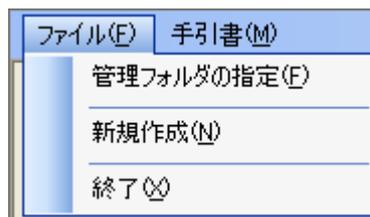
ステータス情報表示欄

操作ガイドメッセージ、ドライバー接続状況、システムのバージョン番号などの表示を行います。

収集データ表示欄

収集したドライバーデータのサマリー表示及び、管理ファイルの一覧表示、管理ファイル中に改行データ挿入指示を行います。

2. メニュー欄について



管理フォルダの指定 (F)

収集データ管理ファイルを保存するフォルダを指定できます。インストール後の最初のシステム起動で、管理フォルダの指定ダイアログ画面が表示されます。

新規作成 (N)

収集データ管理ファイルを新しく作成するときには、このメニューをクリックしてください。ファイルがすでに作成されている場合、このメニューは操作が無効の表示となります。

手引書 (M)

この操作手引書を表示します。

終了 (X)

このシステムを終了します。画面右上の閉じるボタンと同じです。

本システムにおける収集データ管理ファイルについて

収集データは、次のようにファイル管理されます。

- (1) 1つの収集データ管理ファイルにおける登録件数の上限は、30000件としています。登録件数の上限を超えた場合、新たにファイルが生成されます。
- (2) ファイル名は、作成した日付をファイル名として自動的に命名されます。また、ファイルの拡張子はファイルの保存形式で指定の拡張子となります。
例えば、平成20年8月21日に作成される場合、ファイル名は『2008年08月21日』となります。
- (3) 登録件数の上限を超えた場合は、それまでの管理ファイルのファイル名は変更され、新たに、ファイルが生成されます。
例えば、ファイル名『2008年08月19日』のファイルのデータ管理件数が30000件を越えると、『2008年08月19日』のファイル名は『2008年08月19日_1』となり、新たにファイル名『2008年08月19日』のファイルが作成されます。
さらに、データ管理件数が登録件数の上限を越えると、『2008年08月19日』のファイル名は『2008年08月19日_2』となり、新たにファイル名『2008年08月19日』のファイルが作成されます。



- (4) システムの終了時、管理ファイル中に管理データが1件もない場合、その管理ファイルは削除されます。
例えば、上右図では、『2008年08月19日.csv』ファイルで管理中ですが、一度もデータ収集が行われず、システムが終了した場合、『2008年08月19日.csv』ファイルは削除されます。

3 . ドライバー接続管理欄について

判定誤差率 (%)
0 %、2 %、5 %、10 %、15 %、20 %
のいずれかを選択します。

ドライバー接続中に判定誤差率を選択
すると、選択された誤差率を判定機に送
信します。

ドライバー接続情報
ドライバーからのデータ受信を『COM』、
『LAN』いずれで行うかを選択します。



ファイル保存形式
収集データは、CSV形式で保存されま
す。

接続・切断ボタン
ドライバーとの接続・切断を行います。

ドライバー接続情報について

『COM』が選択された場合
シリアル通信の COM ポートを選択してください。ボーレートは
装置に合わせて選択してください。

『LAN』が選択された場合
判定機が『LAN』接続に対応している場合、LAN 接続ができます。
その場合、TCP/IP アドレス（このシステムが動作しているパソコ
ン）及び通信に使用するポート番号を選択してください。

4. 収集データ表示欄について

収集したドライバーデータを表示します。
判定結果欄では、判定結果を『OK』、『NG』
で表示します。

判定結果

ワーク検出状況 ●

Pass **Fail**

収集データ・サマリー

S_No	開始時刻	終了時刻	本数
11	09:32:29	09:35:00	4
12	09:41:42	09:41:42	1
13	09:42:29	09:42:29	1
14	09:43:51	09:43:55	4
15	09:48:11	09:48:19	7
16	09:49:57	09:49:57	1
17	09:50:51	09:51:07	4

学習情報

学習数	5
学習最小値	269
学習最大値	315
学習最小測定時間	337
学習最大測定時間	1891

判定比較情報

判定誤差率(%)	2
判定最小値	778
判定最大値	763
判定最小測定時間	330
判定最大測定時間	1928

判定情報説明

S00 [レバ-SW ON]
S01 [レバ-SW OFF トルクアップ無し終了]
S02 [トルクアップ ON]
S10 [ワーク ON]
S11 [ワーク OFF]
E00 [判定=OK]
E01 [判定=LOW OK]
E02 [判定=HIGH OK]
E03 [判定=LOW NG]
E04 [判定=HIGH NG]

改行挿入ボタン
収集ファイル中に1件分のスペースを挿入します。

ログ情報

[Lever switch ON]
[Job Num = 6]
S02
[Torque Up ON]
D10076700263
D000005026903150033701891
D2002077807630033001928
[Judge = Low OK]
E01
[Judgment end]

管理ファイル一覧

2009年01月21日.csv
2009年01月08日.csv
2008年11月14日.csv

改行挿入

収集データ

No	収集時刻	換算値	時間	判定
34	09:51:01	358	1123	E02
35	09:51:07	473	361	E00
36	09:52:04	767	263	E01

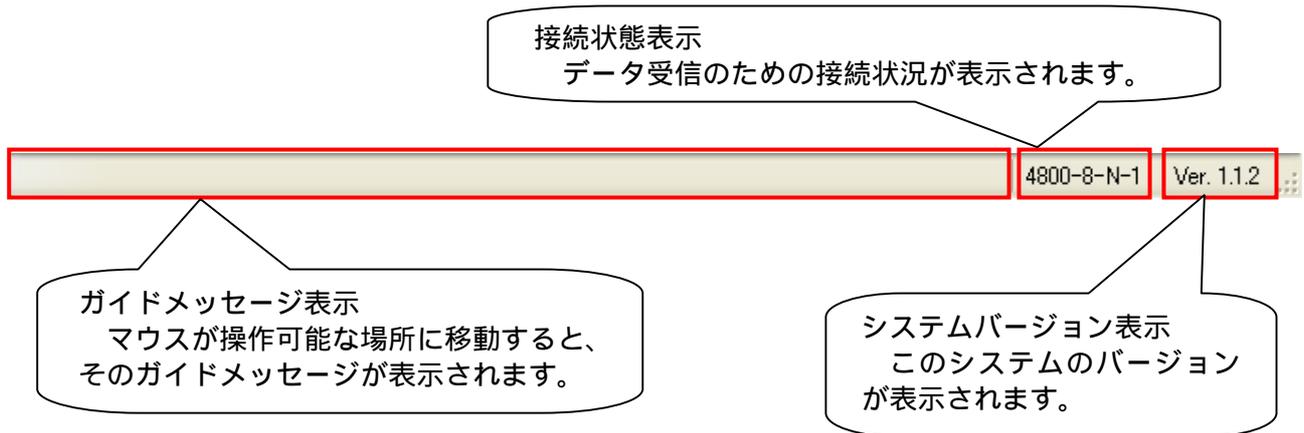
管理ファイル一覧
収集データ管理ファイルのファイル名を一覧表示します。先頭に表示されているファイル名が収集中のファイルです。

ログ情報
収集データのログ情報を表示します。

収集データ
最新の収集データ4件分をサマリー表示します。空白行は、ファイル中で1件分のスペース行があることを示します。また、『改行挿入』ボタンのクリックで、ファイルに1件分のスペースが登録されます。

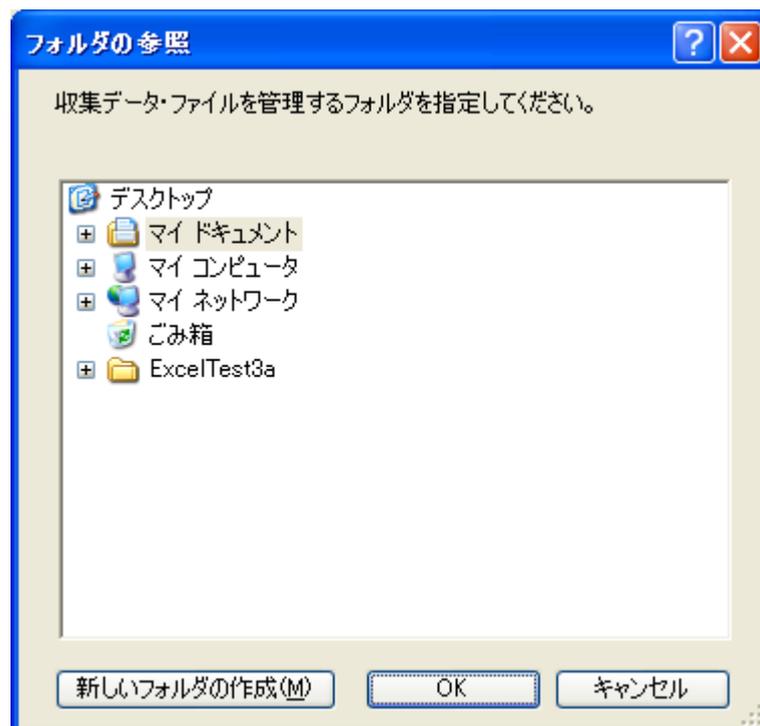
Noはファイル中の登録件数を示します。
換算値は、トルク換算値を示します。
時間は、測定時間を示します。
判定は、判定コードを示します。

5 . ステータス情報表示欄について



6 . システム・インストール後の最初のシステム起動について

このシステムをインストール後、最初の起動では、下図管理フォルダ指定のダイアログ画面が表示されます。任意のフォルダを指定してください。以後、そのフォルダで収集したデータはファイル管理されます。



7. システムの動作環境について

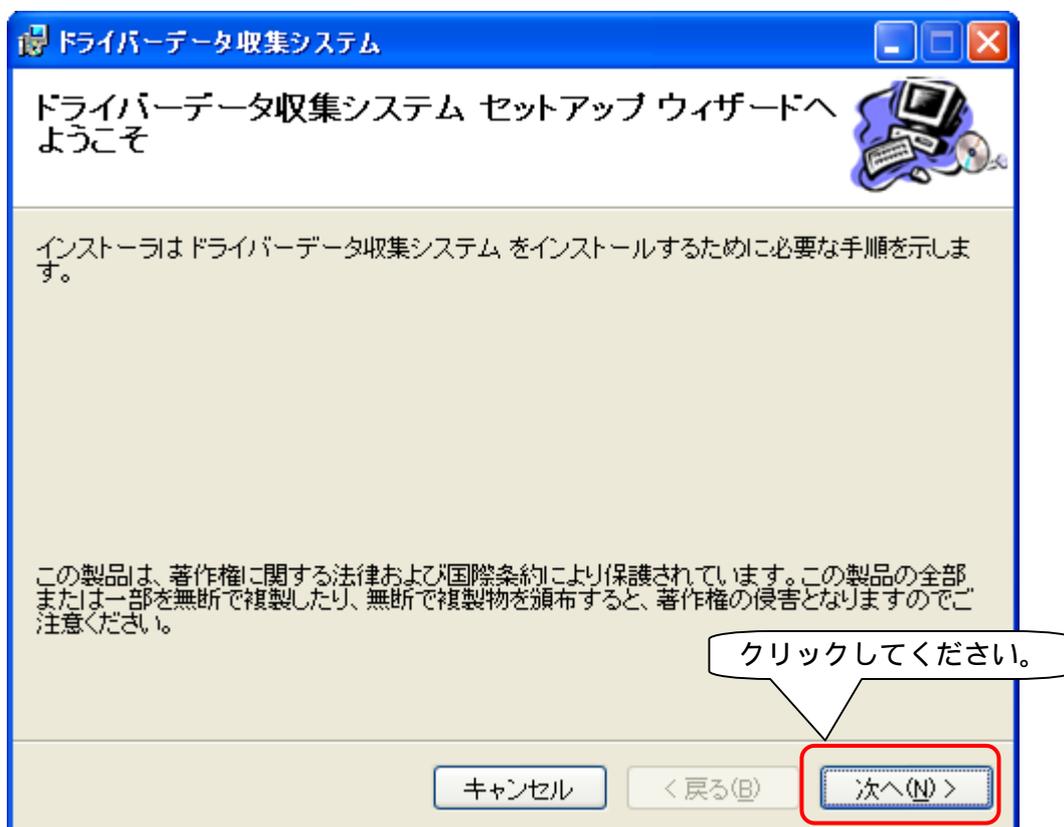
このシステムは、Windows XP 及び Windows Vista のいずれでも動作します。ただし、『.NET フレームワーク 2.0』を使用しておりますので、あらかじめこれらをインストールしておく必要があります。インストール済みか否かの確認は、コントロールパネルの『プログラムの追加と削除』により確認できます。プログラムの追加と削除で表示される一覧の中に、下図に示す表示があれば、『.NET フレームワーク 2.0』はインストールされています。

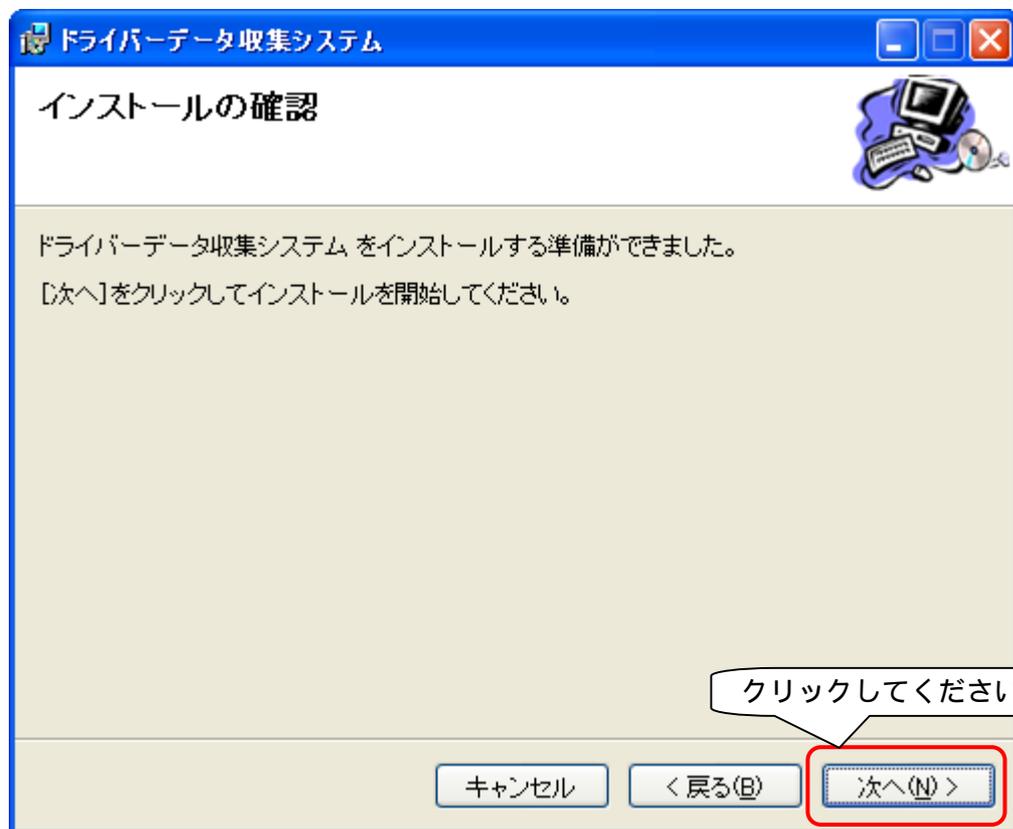
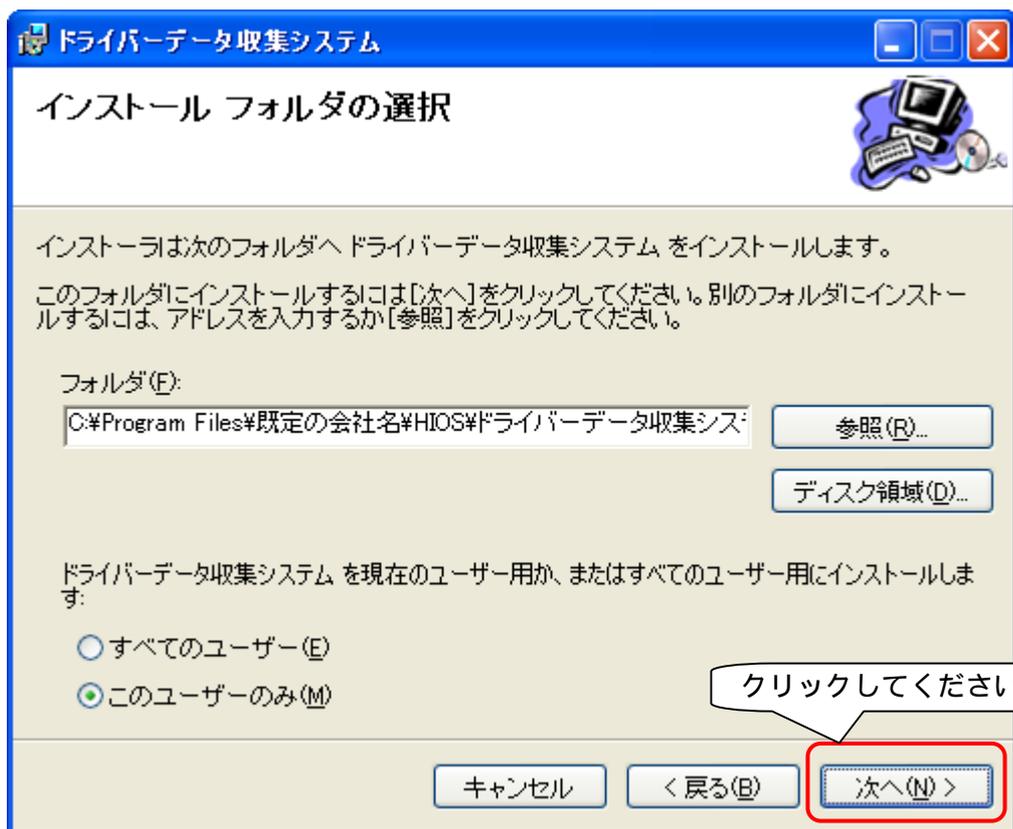
 Microsoft .NET Framework 2.0	サイズ 157.00MB
 Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack	サイズ 157.00MB

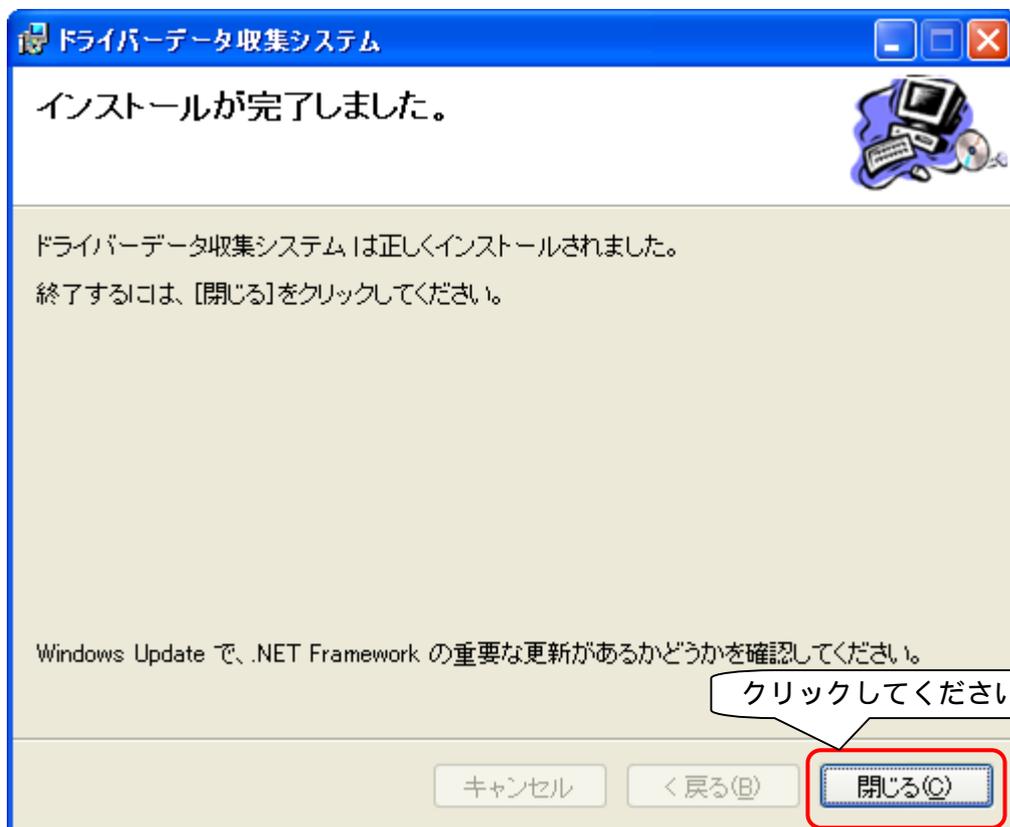
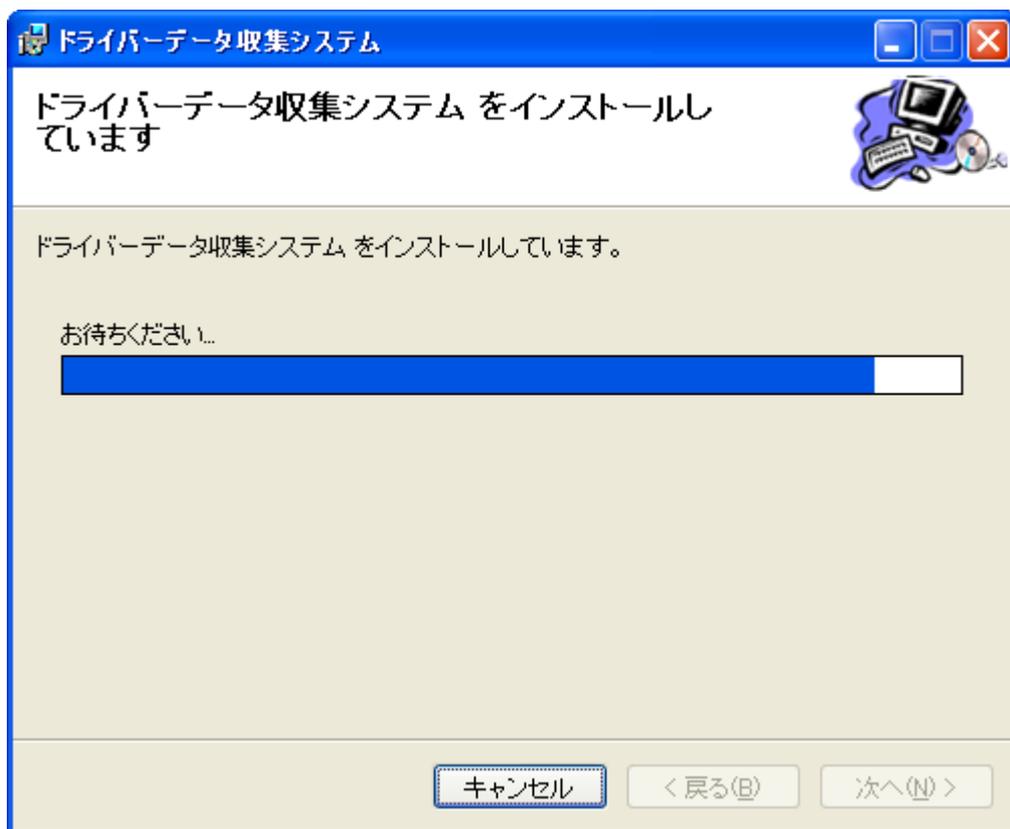
8. システムのインストール/アンインストールについて

システムのインストール

システムのインストールは、配布されたインストールパッケージ内にある『ドライバーデータ収集.msi』をダブルクリックすると始まります。インストールの手順は、表示される画面に従って進めてください。



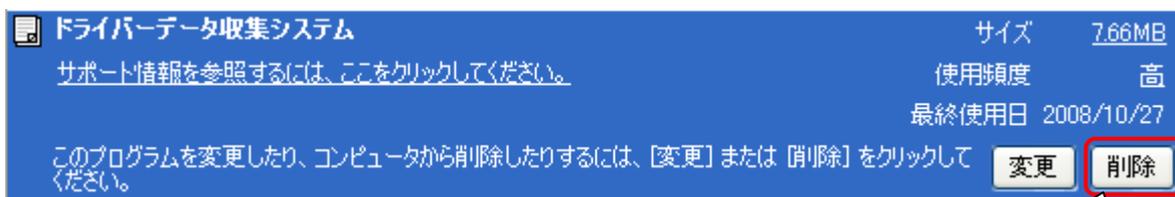




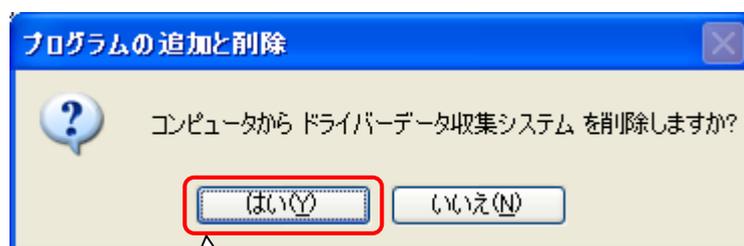
システムのアンインストール

システムのアンインストールは、『プログラムの追加と削除』で行ってください。

プログラムの追加と削除の画面で、『ドライバーデータ収集システム』を選択し、削除ボタンを押すと、下図『プログラムの追加と削除』ダイアログ画面が表示されますので、はいボタンをクリックするとアンインストールができます。



クリックしてください。



クリックしてください。